



市議会だより

みやま^んギカイ

No.64 令和5(2023)年2月1日発行

令和4年12月定例会の内容などをお伝えします。

健康運動指導士 前田 龍さん
(Miyamax トレーニングルームインストラクター)



CONTENTS

- | | |
|--------|------------|
| P2~3 | 12月定例会の概要等 |
| P4~9 | 一般質問 |
| P10~12 | 委員会の報告 |
| P13 | 表紙のひとなど |
| P14 | 聞かせて!あなたの夢 |

こんなことが決まりました

—— 定例第4回市議会で決まったことから主なものをとりあげます。 ——

一般会計

5億3537万6千円を追加し
総額 231億3979万9千円

一般会計補正予算の財源

○国庫支出金	3億7952万4千円
○県支出金	229万7千円
○繰入金	200万円
○繰越金	1億2355万5千円
○市債	2800万円

◆ 令和4年度 補正予算 ◆

定例第4回市議会では、令和4年度補正予算など議案15件、承認1件を審議し、すべて可決・承認しました。

会期 12月6日～16日(11日間)

定例第4回市議会

詳しくはこちら↓



特別会計

国民健康保険事業
903万5千円を減額し
総額 54億275万1千円

後期高齢者医療
35万9千円を減額し
総額 7億16万3千円

介護保険事業
244万8千円を減額し
総額 50億6222万円

企業会計

水道事業会計
504万5千円を追加し
水道事業費用(収益的支出) 5億125万1千円

一般会計補正予算 歳出の主なもの

新型コロナウイルス感染対策関連予算 (がんばりグッチョ・全力応援事業・第5弾)

1億8439万円

- 高校生等世帯生活応援事業 1226万円
- デジタル地域通貨普及推進事業 1386万円
- キャッシュレス決済還元事業 8010万円
- プレミアム付き商品券事業 4600万円
- スマホお助け窓口設置事業 70万円
- 地域社会福祉施設等物価高騰対策事業 598万円
- 農業水利施設物価高騰対策事業 530万円
- 保育所等物価高騰対策事業 360万円
- 防犯灯設置補助事業 200万円
- その他感染症対策事業 1459万円



みやま市
マスコットキャラクター
くまっぴー

【財源内訳】

地方創生臨時交付金	1億3790万円
県補助金	180万円
市一般財源	4469万円

※第5弾について詳細はこちらからご確認ください。↓



特別職・一般職人件費

5285万4千円減額

初任給および若年層の俸給月額引上げなど人事院勧告や人事異動等に伴う補正を行うものです。

価格高騰による光熱水費・燃料費

4080万円

電気料金および重油等の高騰により、市庁舎およびその他公共施設の不足する光熱水費・燃料費を追加補正するものです。

地域介護・福祉空間整備等施設整備事業 補助金

766万6千円

高齢者施設等に非常用自家発電機を設置するための補助金を交付するものです。

高田B&G海洋センタープール 改修工事費

2600万円

現在実施している耐震診断を踏まえ、改修工事費を追加補正するものです。

工事請負契約の変更契約の締結

下庄雨水ポンプ場更新工事について、変更工事や交換部品の追加が必要となったため請負金額を増額するものです。

245万円増額し、3億1633万8千円

財産の減額譲渡

宅地造成し分譲するための用地として、旧市営住宅東町団地跡地を売却するため減額して譲渡するものです。

鑑定評価額4114万円 譲渡価格2655万5千円

※すべての議案名と審議結果は、市ホームページをご覧ください。



ここが聞きたい！

一般質問



一般質問って・・・？

一般質問とは、市議会議員が市に対し、市政についての疑問点を質問し、答弁を求めるものです。

補助金の減額世帯が多数発生

答弁／平等を優先した



瀬口 健 議員



問 給食費補助の対象者が第2

子以降から全生徒へと拡大されたことは評価するが、月額半額補助が千円に下げられたため、428世帯の補助金が減額され、5万3900円もの減額となる世帯が発生した。認識しているか。

答 認識している。新たに補助対象となる世帯もあり、平等を優先した。

問 多子世帯の増加は望むものの。その世帯を犠牲にして何が平等か。

答 財政面を考えてのこと。

問 定住移住、子育て支援は市最大の政策。これに予算がないとは何事か。当初この政策を評価したが、多子世帯を犠牲にするなど悪政だ。裏切られた思いだ。早急な改善を。

答 総合的に考える。

問 コロナ禍の中、行政区毎に地域活動支援金が支給されたが、公民館未加入者は対象外だ。差別ではないか。

答 地域に対し支給したもの。

問 公共施設の利用制限時、中学部活のみ利用許可をされた。夢を追う子供達に学校・社会体育の隔たりはないはずだ。不公平ではないか。

答 今後垣根を外し対応していく。

問 民生委員のなり手不足の解消で、活動費の増額は一定の進歩だが業務量の多さを指摘する声もある。対策は。

答 協議会と連携し、なり手不足の解消に努める。



補助金の減額の大きさに驚く保護者

松嶋市政2期目を問う

答弁／魅力的な市の実現を目指す



村上義徳 議員



問 2期目の基本姿勢について

は、市長が目指す「持続可能な魅力あるまちづくり」の計画において「誰一人取り残されない」理念が加わるとなっている。

市民目線でのわかりやすい言葉で説明を求める。

答 市民の皆様を第一に考えて

いくために、年齢や性別、文化、環境の違いなどの多様性を認め、様々な困難を抱えている方々や、取り残されがちな方々の声をしっかりと聴き、誰もがつながりや成長を実感できるまちづくりを進めていく。

問 スポーツツーリズムの推進

については、整備された筑後広域公園周辺地域での多面的企画力が必要とされているところであるが、今後の取り組みについて問う。

答 スポーツツーリズムは、イ



スポーツツーリズムの核となる筑後広域公園

ベント等への参加や観戦を目的にし、交流人口の拡大、関連産業・関連消費の拡大等、地域活性化に寄与するものであり、筑後広域公園のスポーツ施設を活用して、国内外の旅行者から選ばれる様々なモデルを想定しながら推進をはかる。

ワンヘルス推進体制の構築は

答弁／全庁的に進めたい



中尾眞智子 議員



問 保健環境研究所の再整備

の理由と保健医療経営大学敷地が建設地に決定された要因は何か。

答 人と動物の健康および環境の健全性はひとつというワンヘルス推進のための最先端の施設設備の導入等を行うため。決定的な要因は、本市より建物および土地の無償譲渡の意向を示したことや敷地が広く、将来の機能拡張にも対応可能なこと等から決定された。

問 推進体制の構築は。

答 この事業は多岐にわたっており、各部署の横の連携を取り、全庁的に進めて行きたい。次年度の機構の中で取り入れたい。

問 県の行動計画への連携協

力、市民への周知、理解の促進や取組への支援等、今までの取組と今後の取組は。また、誰もが気軽に参加できるイベントなども実施せよ。

答 既に実践中の「資源循環型のまちづくり」や「さくら猫無料不妊手術事業」等は、県のワンヘ



ワンヘルスセンターの中核施設イメージ図

ルス行動計画と合致している。

教育課程では、大江小学校にて教材作成や学習方法の調査研究に取り組んでいる。来年度から教育課程に組み込む予定だ。また、フォーラムなどの実施も予定している。

問 推進体制の構築は。

答 この事業は多岐にわたっており、各部署の横の連携を取り、全庁的に進めて行きたい。次年度の機構の中で取り入れたい。

令和5年度農業振興策は

答弁／山川町山間地基盤整備等行う



荒巻隆伸 議員



問 令和5年度予算を編成する中で新たな農業振興策は。

答 山川町甲田地区に大規模な山間地基盤整備事業を予定している。事業面積は59・4ha、総事業費は約33億円で耕作者25名を予定。ミカンの生産量アップと品質向上を目指す。

また、岩田地区に農地耕作条件改善事業として、暗渠排水工事を計画している。

問 企業誘致のため産業団地を整備する計画の進捗状況は。

答 埋蔵文化財発掘調査がほぼ終了し、水源調査は調査中で、内定企業を決定した後、半年程度かけ、造成に向けた農振除外、農地転用、開発行為許可、所有権移転などの手続きをし、その後造成工事に着手していく。工事は1年半程度かかる。

問 たかた高田小学校開校後に、瀬高

中学校、東山中学校の統合に取り組むと、前回、3月の一般質問で答弁されたが新年度の取り組みについて尋ねる。

答 高田小学校開校後、瀬高中学校、東山中学校の統合を進めていく。令和5年度は統合に関するアンケート調査を行う予定。また、その次の統合が予定される、水上小学校・清水小学校の統合についても一緒に合わせてアンケート調査を行うしていく。



山川町山間地基盤整備事業(59.4ha)予定地

第2期市長の施政方針を問う

答弁／3つの柱をしっかりと実行



前原武美 議員



問 1期目は、新型コロナウイルス感染症や連続する豪雨等の自然災害で、市民の生命と財産を守る戦いに費やされた4年間ではなかったか。

答 「市政運営の基本姿勢」である市民への「安全・安心のまちづくり」に全精力を注ぎ努めてきた。

問 2期目統投に当たり、今日の政策実行の中では、市民への説明責任や合意形成がなされずに執行されている傾向がある。

答 今後改めて、ホームページ等数々の方法により、市民への説明を十分に行っていく。

問 施策の3つの柱を支える土台がぐらつかないためには、市民と行政が一体となった揺るぎないリーダーシップを発揮されたい。

答 そのためには、地域コミュニケーションの活性化「共助の精神」と市民の目線に立ち意見を聞き、積極的に市政運営に努めていく。

問 現在の教育行政を見ると、教育運営や方針を定め関係者との意見交換もなく進められている。子ども達を学校だけが育てているのではなく、保護者・地域住民含め、一体となって育てているが、どのように捉えているのか。

答 関係者と協議を重ね、説明責任・合意形成に努めていく。



しっかりとしたリーダーシップを

広報紙にてお詫びすべきでは

答弁／報道対応時に
コメントを出している



森 弘子 議員



問 道の駅みやまの「にんにく

の産地偽装に始まり、不祥事が
多発している。

多発したことについて、広報
みやまなどにて、お詫びすべ
きではないか。

答 基本的に報道対応時に
お詫びのコメントを出している。

問 5月に施設管理人の1人

が、不正事実を会社に内部告
発してから5か月の間、会社側は
市の報告を全くせず、黙っていた。

この着服は、遡って確認書類
が現存する5年間も行われていた
ことになる。市民の大切な公金を
横領した委託先の会社について、
今後も公募に参加させるのか。

答 すでに処分した10月25日
から12月24日までの指名停止措
置期間を終了しているの、参加
する条件は満たしている。

問 市長の報酬について、柳川

みやま土木組合において、職員が
不適切な入札事務を行ったこと
に対して、「自らを戒め、律するた
め」と組合長と副組合長の報酬
を半年間減額されたが、今回の職
員の不祥事案については、市長
の報酬は減額しないのか。

答 柳川みやま土木組合は、

1つの地方公共団体であるので、
本市との関連性について、発言
は控えさせていただく。



不祥事案が多発するみやま市

新築の総合市民センターで
雨漏りが

答弁／調査・原因究明をする



古賀義教 議員



問 9月18日の災害避難時に

雨漏りが発生して既に3か月に
なるが補修ができていない。

雨漏りは原因の特定が勝負。一
度雨漏りしたら簡単には直らな
いのが雨漏りの怖さ。第三者機関
や雨漏りの専門家に調査を依頼
する考えはないか。

答 施工業者が調査中であり、
次の段階で考える。

問 市長は、46億円の市民の財

産を雨漏りから守る責任があり、
本来なら市長が早急な原因究明
と再発しない補修内容を議会と
市民に報告すべき。

市議会は特別委員会を設置す
る予定。雨漏りの専門家を入れ
た市の調査委員会を設置する気
持ちはないか。

答 原因究明してから判断する。

自動運転の検証結果は

問 山川の自動運転の利用者

が非常に少ないが、運行経費は
いくらか。

答 800万円。

問 今年度で国の補助金が無

くなる。来年度も利用が少ない
自動運転に、年間800万円を
出して続けるのか。

答 県の補助金も検討しなが
ら継続する。

問 自動運転に限らず、失敗し

た時には傷が浅いうちに撤退し
ないと、若い世代に大きな財政
負担をかけることになる。

答 地域の方の意見と実験結
果を踏まえて今後考える。



雨漏り調査中の
総合市民センター

地域食堂・生活困窮者等への支援強化を 答弁／市社協と連携協力 していく



奥蘭由美子 議員



問 市内には子ども達への学習支援を主目的とする「子ども食堂」や誰でも参加できる「地域食堂」があるが、みやま市社会福祉協議会からの助成金額は1人100円で、1か月の上限額は3000円。フードバンクなどから食材を提供してもらって運営しているが、参加人数が多くなれば赤字となる。

支援強化の考えはあるか。

答 今後、食材を確保しやすい方策等について社会福祉協議会と連携しながらこの事業を支援していく。

問 生活困窮者やDV被害者の方へ、生活保護費や貸付金などが支給されるまでの間、市社会福祉協議会が家財道具などの貸し出しや食料品の支給を行っているが、保管場所が少なく、管理も大変とのこと。



たくさんの人でにぎわう「地域食堂」

現在、企業やフードバンクから食料品の寄付が行われているが、市が管理する建物の空きスペースの提供や企業への協力の呼びかけなど、支援強化の考えは。

答 保管場所については、今後、社会福祉協議会と協議していく。

また、物資を提供できる事業所等の募集について、市の広報紙等を活用するなどの支援をしていく。

「コミュニティバス事業の改善を 答弁／デマンド交通を検討



吉原政宏 議員



問 コミュニティバスは、「時間がかかる」「バス停まで遠い」「本数が少ない」などの理由で改善を求める市民の声を聞く。より多くの市民が利用できるようデマンド運行の導入やタクシーの活用など効果的・効率的な運営への改善が必要では。

答 現在のコミュニティバスは課題が多いと認識している。デマンド交通などの新たな仕組みを検討し、使いやすく持続可能な地域公共交通体系を築く。

問 市民の安全な足の確保のため早急に進めてほしいが。

答 令和4年度中に地域公共交通計画を策定し、その後具体的な方策を検討する。

問 みやま柳川インター北側の産業団地は複数の企業と立地協議が進んでいると聞けが、造成

完了は最短でいつになるのか。

答 令和4年度中に立地企業を公募、その後各種申請手続きで6か月程度が必要となる。造成工事は1年5か月ほど要するので令和6年度中の造成完了を目指す。

問 さらなる企業誘致には、市長自らがトップとして動き企業を引っ張ってくる活動を望むが。

答 本市の将来のためにしっかりとトップセールスに取り組む。

※デマンド交通とは

予約を入れて指定された時間に指定された場所へ送迎する交通サービス



効果的・効率的な
コミュニティバス事業を

4億7千万円
なぜ供託しなかったのか
答弁／判例を踏まえ支払った



中島一博 議員



問 インターロッキングの不具合の協議中にも関わらず、なぜ残金4億7千万円を支払ったのか。

私だったら施工業者と協議して工事が済むまで支払いを待つてもらい、残金については法務局に供託するが。

答 協議しなかったが、議会のインターロッキングの不具合を指摘する議論の経過を踏まえ、再度支払いを延期したが、判例により支払った。

問 インターロッキング不具合や、透水性舗装の砕石が取れているが、高齢者等が事故を起こした場合は、責任は誰が取るのか。

答 市が責任をもって対応する。

問 第三セクターの人事については、今後、民間のノウハウを含めた適切な知見を有する人材が積極的に登用されるように考えるが。

答 第三セクター人事については、総務省指針を踏まえながら総合的に判断していく。

問 市職員の不祥事については、市長はどこが問題と考えているのか。綱紀粛正だけでなく具体的な対策を。

答 私自身が再発防止の率先垂範となり、研修や面談を充実させる。

問 みやま市はトップダウンか、ボトムアップか。

答 ボトムアップを目指している。

問 雨漏り原因調査中の総合市民センター



雨漏り原因調査中の
総合市民センター

不祥事が多発しているが
答弁／襟を正し信頼される
組織を確立



末吉達二郎 議員



問 不祥事が多発し、懲戒処分その他不適切事案が他の自治体と比較し多く、異常事態では。

答 懲戒事案が令和2年度1件、同3年度2件、同4年度2件合計5件発生している。その他、市が関係する外部団体及び市職員の不適切事案が令和2年度1件、同3年度1件、同4年度3件生じ、事案は多い。

問 特異な点は親睦会費の横領が短期連続し発生したことだ。発生後、その都度基本的に文書での「綱紀保持」の指導をされている。文書の指導には限界がある。また、コロナ禍、災害の連続による業務増でストレス等の要因等があるのでは。研修の充実及び職員の個人面談の必要性は。

答 文書のための綱紀保持だけでなく、職員との対面研修、個人面談により職員の抱える問題等を

相談できる体制を図る。

問 政策提言した2点について前向きに答弁された。3点目の市長の権限の範囲内で監査機能強化は。3つの政策提言は「公務の信頼」を保つことと同時に「市職員を守る」ことになるが。

答 3点の提言の趣旨を踏まえ、私を含め職員と共に襟を正し組織のコンプライアンスの向上を図る。



職員研修の風景

委員会報告



文教厚生常任委員会

【定例会報告】

12月12日に委員会を開催しました。

委員会では付託された議案1件について審査しました。

議案「みやま市教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定については、中学校での少人数学級を推進するため、任期を定めて任用した教育職講師に対し、福岡県の人事委員会勧告に準じた給与の改定を行うものです。

慎重審査の結果、原案とおり可決すべきものと決しました。

また、令和4年度みやま市一般会計補正予算の所管分ほか3特別会計補正予算について、慎重に審査を行いました。

所管事務調査では、令和5

年4月に開校する「^{たかた}高田小学校」建設工事の現在の進捗状況や、外構工事・浄化槽工事などについて説明を受け、質疑を行いました。
ほかに、閉校式・開校式の日程について報告がありました。



産業建設常任委員会

〔定例会報告〕

12月13日に委員会を開催しました。

委員会では付託された議案1件等について審査しました。

議案「工事請負契約の変更契約の締結について」は、下庄雨水ポンプ場2号ポンプ機械・電気設備更新工事について、令和3年臨時第2回市議会で可決した工事請負契約に変更が生じたことから、議会の議決を求めるものです。

変更契約の内容は、消防協議により燃料小出し槽からの配管に緊急遮断弁を設置するほか、天井クレーンの経年劣化による交換部品の追加が必要となったため、請負金額を245万800円増額し、3億1633万8千円とするものです。

慎重審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他、令和4年度みやま市一般会計補正予算（第8号）、令和4年度みやま水道事業会計補正予算（第1号）の所管分について、審査を行いました。



総務常任委員会

〔定例会報告〕

12月14日に委員会を開催しました。

委員会では付託された議案7件を審査しました。

主なものとして、議案「みやま市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、令和5年4月に地方公務員法の一部が改正される法律が施行されることに伴い、職員の定年を現行の60歳から65歳に2年ごとに1歳ずつ段階的に引上げるとともに、管理監督職務上限年齢制、定年前再任用短時間勤務職員等の制度を導入するほか、所要の改正を行う必要があることから条例を改正するものです。

議案「財産の減額譲渡について」は、宅地分譲するため、旧みやま市宮住宅東町団地跡地を売却するもので、サウディング型市場調査や周辺取引事例に基づき、不動産鑑

定結果の4114万円から1458万5千円を減額した2655万5千円で譲渡するものです。契約の相手先は「株式会社イムズパートナー」です。

慎重審査の結果、いずれも原案通り可決すべきものと決しました。

その他、一般会計補正予算の所管分について質疑を行いました。



総合市民センター建設工事調査特別委員会

12月16日に議長発議により、地方自治法第98条第1項の規定による検査を行うため、次のとおり特別委員会を設置しました。

名称

総合市民センター建設工事調査特別委員会

設置の根拠

地方自治法第109条及びみやま市議会委員会条例第6条

検査事項

総合市民センター建設工事に関する事項

検査方法

関係書類の提出及び当該書類に関する報告を求める。

検査権限

地方自治法第98条第1項の権限を本特別委員会に委任する。

検査期限

検査が終了するまでとし、閉会中もおこなう検査を行うことができる。

理由

本調査特別委員会は、みやま市総合市民センター建設工事を通じ、市及び設計業者、施工業者それぞれの役割を再確認し、契約から竣工までの各種手続き内容及び業務の遂行状況等を調査し、大型建設工事に対する市の事務事業について検証する。

委員会の構成

委員長 荒巻隆伸
副委員長 吉原政宏
委員 議長および監査委員を除く12名

タブレット端末導入特別委員会

12月20日に委員会を開催しました。

委員会では、近隣市議会が導入しているペーパーレス会議システムについて、業者によるタブレットを使った研修を行いました。

タブレット操作は、実践的な継続操作で慣れる以外なく、導入後も一定期間、紙資料との併用も視野に入れる必要があるとの意見が出ました。

今後も、別の会議システムの検討やタブレット導入議会への調査を行い、導入までの課題などを洗い出し、協議を進めていきます。



議会だよりを音訳・点訳していただいているボランティア団体をご紹介します!

音訳「朗読ボランティア ^{しおり} 葉」

文字が読みづらい方、視覚に障がいのある方等にカセットテープで提供されています。

点訳「ろくてんくらぶ」

点訳された議会だよりは、みやま市立図書館(瀬高)に設置されています。

連絡先:みやま市議会事務局(64-1541)

表紙のひと

今回取材させていただいたのは、健康運動指導士の前田さん。昨年10月にオープンしたMIYAMAX内トレーニングルームでインストラクターとして、利用者の健康づくりのための運動をサポートされています。

「健康に関心がある市民の方が多いのが印象的です」と話される前田さん。10代から90代まで幅広い年齢層が利用されているそうです。



トレーニングルーム
利用案内は
こちらから↓



健康運動指導士 ^{まえ だ とおる} 前田 龍さん
^{みやまつくす}
(MIYAMAX トレーニングルームインストラクター)



10月から通う男性に話を聞くと「2か月で血糖値の数値が良くなり、薬がいなくなりました。病院の先生にもびつくりされました」と効果を実感。

利用者ごとに運動記録表を作成し、その日の体調や体力に応じて、運動のきつさや運動時間などについてアドバイスをしてもらえるため、安全かつ効果的に運動に取り組めます。

「ほかのスタッフと一緒に運動をサポートします。お待ちしております」と話していただきました。

有明生活環境施設組合議会

11月11日に第2回議会定例会を開催しました。令和3年度の決算認定議案、補正予算など5議案を審議し、すべて可決承認しました。

当組合議会は、10月の柳川市議会議員の改選に伴い、7名の新組合議員が選出され、みやま市と合わせて12名の議員で構成しています。

3月から運営を開始した有明ひまわりセンターでは、環境学習の場として施設見学の受入も行っています。12月には、両市内の小学校をはじめ多くの方々に来場いただき1,000人を 超えています。また、先進地視察として 大牟田・荒尾清掃施設組合議会から訪問されるなど地域外からの視察受入にも対応しています。



柳川みやま土木組合議会

11月21日に第2回定例会を開催しました。「令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定」「令和4年度一般会計補正予算」他5議案が上程されました。

令和3年度の決算は次のとおりです。

1. 歳入総額	2億3930万6294円
2. 歳出総額	2億1482万8498円
3. 差引残額	2447万7796円
4. 翌年度へ繰り越すべき財源	780万円
5. 実質収支額(翌年度繰越額)	1667万7796円

令和3年度決算におけるみやま市関係は、歳入が一般分担金3629万円、特別分担金792万3000円となりました。歳出の工事関係では、農村環境整備事業による樋門改良工事1件863万5000円、土地改良施設維持管理適正化事業による樋門機械整備補修工事2件1111万円、一般修繕工事が6件941万500円となっております。補正総額は、1171万8000円を追加して、補正後の予算総額が2億9771万8000円となりました。

いずれも慎重審議の結果、原案のとおり認定、可決承認及び同意されました。

聞かせて! あなたの夢



高田中学校 2年

もり わいちろう
森 和一郎さん

将来の夢

私の将来の夢は、具体的な職業などはまだ明確に決まっていますが、地元の発展に貢献できるような仕事に就きたいと思っています。

理由は、私がこうして楽しく日々を送ることができているのも、勉強や部活に打ち込めることができていけるのも、この地域のおかげだからです。

このような仕事に就くためには、地域の方々と密接に関わることが大切だと思います。なので、老若男女問わず、誰とでも積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。そして、常に前向きな姿勢を今後も続けていきたいです。

みやま市マスコットキャラクター
くっぴー

編集委員

委員長 中尾眞智子
副委員長 吉原 政宏
委員 河野 一仁
委員 村上 義徳
委員 奥園由美子
委員 宮本 五市

《次回定例会》

2月28日(火)

からの予定です。



インターネットで
中継・録画を配信
市ホームページ
「みやま市議会」の
「インターネット中継」
からご覧ください。

編集後記

令和5年は卯年。市議会はみやま市民の生活が「向上」する「飛躍」の年となるよう活動してまいります。

「飛躍」といえば、サッカーワールドカップでは日本代表が大活躍を見せてくれました。

日本のアニメ「キャプテン翼」は世界中のサッカー選手に影響を与えておりますが、主人公は小学生の頃から日本のワールドカップ優勝が目標でした。連載が始まった1981年、私は瀬高中学校サッカー部でボールを追いかけておりましたが、当時は日本がワールドカップに出場することさえ夢だった時代です。しかし今回、正に「漫画の世界が現実になるかもしれない。そんな希望を抱きました。

子どもたちも、大きな夢を抱き、いつか叶えられるよう努力することの大切さを感じたのではないでしょうか。子どもたちの「飛躍」が楽しみです。

編集副委員長 吉原 政宏

みやま市ホームページアドレス <https://www.city.miyama.lg.jp/>